

健幸の可視化シンポジウム 2026

VITALITY DESIGN SYMPOSIUM 2026

開催のご案内 — バイタリティサインは、人のプラスの変化を見える化して、新しい価値を創造する。

2026 年 10 月吉日

株式会社 東海テクノ

バイタリティサイン事務局

健康が人生に与える影響は、とても大きいものです。私たちは、病気や不調を避けるだけでなく、元気であること、前向きであること、心が豊かであること、誰かとのつながりを感じることで含めて、人が「より良く生きている状態」を大切にしたいと考えています。事業趣意書に掲げた言葉でいえば、私たちが希求しているのは、もしかしたら「健康」だけではなく、「健幸」なのではないか——。

私たちが目指すこと

東海テクノは、未病分析プロジェクトを通じて、健幸状態の可視化をテーマに、人々の健幸を追求します。

「ここに行ったら健幸になる」「これを食べたら健幸になった」。そんな一人ひとりの経験を、思い込みや印象だけで終わらせず、“証拠”として少しずつ集めていく。しかも、感じ方は人それぞれ違う。その違いを大切にしながら、科学と社会の両面から考えていくことが、本プロジェクトの出発点です。

今回のシンポジウム

「健幸状態の可視化」を、研究者・企業・行政・地域と一緒に考え、次の研究・実証・共創へ進むための最初の場です。

なぜ、いま「可視化」なのか

これまでのヘルスケアは、「病気・不調・リスクを捉える」「未病を早く見つける」といった視点を中心に発展してきました。

私たちはそこに、「元気・意欲・集中・没入・安心・感動・充実など、プラスの変化をどう捉えるか」という新しい問いを重ねます。

当社が提唱する幸せバロメーター「バイタリティサイン®」は、その問いを実現するための未病分析プロジェクトの根幹です。現在は研究開発・試作段階であり、完成した診断・治療製品ではありません。近赤外スペクトル、ホルモン等の指標、主観的な実感などを組み合わせながら、何を測ることができるのか、何が人の健幸を表すのか、その関係をどう検証するのかを考えています。

このシンポジウムで、皆様と一緒に始めたいこと

健幸は、誰にとっても同じ形ではありません。だからこそ、「何がその人の健幸につながったのか」を知り、その体験を“健幸の証拠”として積み重ねることに意味があります。

本シンポジウムでは、研究者・企業・行政・地域の皆様が、それぞれの現場で感じている「健幸」を持ち寄り、何を研究し、何を測り、どこで試し、どう社会へ広げるのかを一緒に考えます。

当日、皆様と考えたいこと

- 人が「元気になった」「意欲が高まった」「夢中になれた」「安心した」「感動した」と感じる変化をどう理解し、活用するか。
- 主観的な実感と、心理・生理等の客観的な指標をどのように組み合わせ、それを活用するか。
- 「ここに行ったら、これを食べたら健幸になった」という経験を、“証拠”として積み重ね、それをどう活用するか。
- その証拠を、商品・サービス、健康経営、地域、観光、スポーツ、食品、ウェルビーイング等の現場で、どう活かせるか。

開催概要

項目	内容
日時	2026 年 12 月 18 日（金）（開場受付 12：30） シンポジウム 13:30～16:00／交流会 16:00～17:00
会場	ウインクあいち（愛知県産業労働センター）【会議室 1202】
定員・参加費	80 名（予定）／無料
主催	株式会社東海テクノ バイタリティサイン事務局
申込	東海テクノ HP 及びチラシ内申込 URL・QR コード

当日のプログラム

時間	内容	予定
13:30-13:40	開会	三重県雇用経済部新産業振興課
13:40-14:15	基調講演「見えない「健幸」をどう測るか -生体データからひもとく、こころとからだ-	黒坂知絵 氏 産業医科大学 産業保健学部 人間情報科学 准教授
14:15-14:50	専門家講演「プロジェクトデザインから社会実装へ」	西根英一 氏 事業構想大学院大学 特任教授 (株)ヘルスケアビジネスナレッジ 代表取締役社長
14:50-15:10	健幸を起点とした新産業創出・産学官連携について	三重県雇用経済部新産業振興課
15:20-15:50	パネルディスカッション「健幸のプラスを、どう社会へつなぐか」	石田元彦 氏 石川県立大学 名誉教授 瀧本陽介 氏 (株)ヘルスケアシステムズ代表取締役社長 丸山 崇 氏 産業医科大学 医学部 第1生理学 教授 望月 誠 氏 静岡県産業振興財団ウエルネス・フーズ産業支援センター長 (ファシリテーター) 西根英一 氏
15:50-15:55	閉会	市田 明 (株)東海テクノ 代表取締役
16:00-17:00	交流・名刺交換	参加者交流

※登壇者・講演内容・進行等は調整中のため、詳細確定後に第 2 版として改めてご案内します。

シンポジウムの先に 共創型コンソーシアム構想

本シンポジウムは、人の元気・意欲・感動・充実など「健幸のプラス側」を可視化し、社会実装へつなげる共創型コンソーシアムの形成に向けた出発点です。企業、大学・研究機関、計測・データ企業、行政・支援機関、地域・実証現場が、それぞれの課題、知見、技術、フィールドを持ち寄ります。

東海テクノは、主催・事務局機能と分析・計測・解析基盤を担い、各参加主体が対等な立場で連携し、共同研究・PoC から事業化・地域実装まで進められる仕組みを支えます。

コンソーシアムが創る未来

不調を減らすだけでなく、人の元気・意欲・感動・充実を増やすことが、データとエビデンスに基づいて評価され、商品・サービス・働き方・地域づくりに反映される社会へ。

一人ひとりの違いを尊重しながら、「ここに行ったら」「これを食べたら」「この働き方なら」健幸につながったという経験を社会の共通資産として蓄積し、より良い選択と新たな産業の創出につなげます。

ご一緒にしたい方

食品・ウェルネス、保険、観光、スポーツ・イベント、エンターテインメント、健康経営、ウェアラブル・計測、研究機関、自治体・支援機関など、健幸につながる商品・取組みをお持ちの皆様。

※本シンポジウムで紹介する「バイタリティサイン®」は研究開発・試作段階の取り組みを含み、病気の診断・治療を目的とするものではありません。